

『このミステリーがすごい！』編集部による

2023年度ホラー小説ベスト20を発表

『このホラーがすごい！』6/13発売決定

雨穴×梨×背筋1万字鼎談も！

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:関川誠)は、『このホラーがすごい！ 2024年版』を2024年6月13日(木)に発売します。

弊社は、1988年からミステリー小説のガイドブック『このミステリーがすごい！(以下、このミス)』を発売しています。毎年、作家や書評家、ライターなどの有識者へアンケートを行い、「今年面白かったミステリー小説」を調査。その結果をランキング形式で発表しています。さらに、ランクインした作家へのインタビューや、ここでしか読めない対談など、特別なコンテンツを多数収録。読者が本当に面白いと思う作品に出会えるガイドブックとして支持されています。

このたび発売する『このホラーがすごい！ 2024年版』は、『このミス』編集部が制作した初のホラー小説ガイドブックで、『このミス』と同じく、専門家らが選ぶ、2023年に発表されたホラー小説ベスト20を国内編/海外編に分けて発表します。2023年にXで話題となったモキュメンタリー作品『近畿地方のある場所について』をはじめ、第43回横溝正史ミステリ&ホラー大賞史上初の三冠受賞作『をんごく』、近年人気を集めるいわゆる「因習村」を扱った『極楽に至る忌門』、オンデマンドで刊行された幻想怪奇小説『甲府物語 飯野文彦異色幻想短編集』など、幅広い作品がランクインしています。

さらに、昨今のホラーブームをけん引する雨穴氏×梨氏×背筋氏による1万字の鼎談や、綾辻行人、三津田信三ら作家13名による特別エッセイ、ホラー史を知るうえで欠かせない必読ホラー20選などを収録。ホラー好きはもちろん、本好きやミステリー好きにとっても、魅力的な作品に出会えるガイドブックです。



【コンテンツ】

- ・巻頭鼎談 雨穴×梨×背筋 モキュメンタリーホラーの旗手がここに集結
- ・2023年のホラー小説ベスト20発表 国内/海外ランキング
- ・国内編 第1位作家特別インタビュー
- ・綾辻行人、三津田信三ら作家13名による特別ホラーエッセイ
- ・スティーヴン・キング作家生活50周年記念鼎談 阿津川辰海×斜線堂有紀×白石朗
- ・ホラー史を知るうえで欠かせない！ 必読ホラー20選【国内編/海外編】
- ・ベスト6【国内編/海外編】(ランキングアンケートの内訳)

間取り図を文章の間に落とし込み、作品として成立させた「変な家」。情報を少しずつ更新し、リアルタイムで増幅する恐怖を演出した「近畿地方のある場所について」。バラエティ番組の体をとったフェイクドキュメンタリー「テレビ放送開始69年！ このテープもってないですか？」(BSテレ東)。大量の怪文書のつながりを来場者に考察させる展覧会「その怪文書を読みましたか」など、近年のホラーブームでは、メディアの垣根を超え、既存のフォーマットではできなかった試みが次々と成功しています。これほどの盛り上がりを見せているのは、それらが「怖い」だけでなく、今までにない新しい「面白さ」を見せてくれるからではないでしょうか。

本書はそのようなブームの立役者である雨穴さん、梨さん、背筋さんの鼎談をはじめ、現代のホラーコンテンツについて余さず紹介する書籍となっています。

書籍局 第2編集部 梅田みなみ



『このホラーがすごい！ 2024年版』

価格：900円(税込) / 発売日：2024年6月13日(木)

※ランキングの詳細は紙面のみで掲載となります。また、本書から順位を引用してのご掲載はお控えください